

(No.301)

科名	建築科	教科区分 分野	普通学科
教科科目	社会（１・２年）	時間	１年 ２８H ２年 １４H
教育訓練目標	社会人に求められる一般教養や技能を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
１．校行事 ２．各種講話	オリエンテーション ガイダンス（目的、進め方、注意事項） 交通講話 キャリア形成		合計 ２３H

(No.302)

科名	建築科	教科区分 分野	普通学科
教科科目	体育（１・２年）	時間	１年 ２８H ２年 ３１H
教育訓練目標	スポーツをととして体力の向上と健康増進を図り、生涯スポーツの基礎を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
１．体育 ２．レクリエーション ３．スポーツ大会	運動、ウォーミングアップ スポーツ（ソフトボール、バレーボール、バドミントン、バスケットボール、卓球、サッカー） レクリエーション 対面式 スポーツ大会		合計 ８４H

(No.303)

科名	建築科	教科区分 分野	普通学科
教科科目	建築数学	時間	1 年 3 0 H
教育訓練目標	建築技術者に必要な数学の知識を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. 基礎数理	関数とグラフ		
2. 三角関数	三角比、正弦・余弦定理、加法定理		
3. 指数関数	指数関数		
4. 建築実用 数学	関連演習、S P I 対策		
			合計 3 0 H

(No.304)

科名	建築科	教科区分 分野	系基礎学科
教科科目	建築概論	時間	1 年 3 0 H
教育訓練目標	建築技術者として必要な建築物の概要、種類及び歴史についての知識を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. 建築の概要	建築物の定義、地域特性・文化と建築、宗教と建築		
2. 建築物の種類	架構式建築、積石式建築、様式年表		
3. 建築史	（１）西洋建築史 ギリシア建築、ローマ建築、エジプト建築、ビザンチン建築 初期キリスト教、ロマネスク、ゴシック、ルネサンス バロック （２）日本建築史 仏教建築、住宅建築、城郭建築、霊廟建築 （３）近代建築史 オットー・ワグナーとモダンアーキテクチャー、 産業革命とアーツ・アンド・クラフツ・ムーブメント、 コルビジエと近代建築の５原則 ライトと日本の近代建築		
			合計 3 0 H

(No.305)

科名	建築科	教科区分 分野	系基礎学科
教科科目	構造力学概論（１・２年）	時間	１年　４０H ２年　４０H
教育訓練目標	建築技術者として必要な力についての知識と静定構造物に関する反力及び応力等についての力学の基礎知識を習得する。		
教科の細目	科　目　の　内　容		訓練時間
１．力の釣合い	力、力のモーメント、力の合成と分解、力の釣り合い		
２．荷重と外力	力学的にみた構造物の種類、支点と節点、荷重、反力 構造物の安定と静定、判別式		
３．応力	静定構造物の応力、単純梁の応力、静定ラーメンの応力 トラスの応力		
４．断面の性質	部材の性質、応力度とひずみ度、座屈		
５．基礎と地盤	基礎の種類と地盤について		
			合計 80 H

(No.306)

科名	建築科	教科区分 分野	系基礎学科
教科科目	建築構造概論（１・２年）	時間	１年　３０H ２年　６２H
教育訓練目標	建築技術者として必要な鉄筋コンクリート造及び鉄骨造の構造の違いによる建築物の特徴を理解する。		
教科の細目	科　目　の　内　容		訓練時間
１．木造建築	木材、在来軸組工法の基礎知識、金物の使用		
２．プレハブ建築	工場で生産する建築		
３．枠組壁工法	枠組み材、ツーバイフォー工法		
４．鉄筋コンクリート造	コンクリートと鉄筋、鉄筋コンクリート造の基礎知識 鉄筋コンクリート構造、壁式鉄筋コンクリート造		
５．鉄骨造	鋼材、鉄骨造の基礎知識、鉄骨構造		
			合計 92 H

(No.307)

科名	建築科	教科区分 分野	系基礎学科
教科科目	建築計画概論	時間	1 年 4 6 H
教育訓練目標	木造住宅を計画する基礎から商業建築、公共建築等の計画法、各部計画を学びエスキスの基本を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. 全体計画	建築計画のたて方、建築空間、建築設計法		
2. 各部の計画	住宅の階段、廊下、建具寸法等		
3. 計画の進め方	動線計画、平面計画、構造計画等		
4. 各種建築物 の計画	独立住宅、集合住宅、事務所、商店、ホテル・旅館 公共建築		
			合計 4 6 H

(No.308)

科名	建築科	教科区分 分野	系基礎学科
教科科目	建築生産概論	時間	2 年 2 0 H
教育訓練目標	建築生産の歴史から特質、生産過程を学び、現代の建築生産に要求されることや、今後対応しなければならないことなどを理解する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. 機械	機械化の進展、施工管理のシステム化 施工のロボット化		
2. 工程管理	工程管理の意義、工程表、工程計画		
3. 資材管理	新材料の・新工法の普及		
4. 生産管理	一品生産、設計と生産		
5. 契約事務	請負契約、請負業者の選定		
			合計 2 0 H

(No.309)

科名	建築科	教科区分 分野	系基礎学科
教科科目	建築設備（建築設備Ⅰ）	時間	1年 40H
教育訓練目標	建築用途により多岐にわたって要求される性能を確保するために様々な設備が使用されている。その設備について、基本的な計画法を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容	訓練時間	
1. 給排水衛生設備	給排水衛生設備の概要、衛生器具、給水設備、給水設備の計画設計		
2. 空調設備	空気調和の概要、空気調和方式の種類と特徴、空気調和設備の計画、空気調和機、配管・ダクト設備の計画		
3. その他の設備	消火設備、排水処理設備		
		合計40H	

(No.310)

科名	建築科	教科区分 分野	系基礎学科
教科科目	測量	時間	2年 20H
教育訓練目標	建築技術者として設計及び、現場作業での施工に必要な知識を理解する。		
教科の細目	科 目 の 内 容	訓練時間	
1. 測量一般	測量の歴史、測量の種類		
2. 測量機器	オートレベル、トランシット、平板測量		
3. 敷地測量	それぞれの機器の取扱方法		
4. 図面及び計算	三角測量法概要、水準測量、水平角の測定、鉛直角の測定、測定角の誤差、トラバース測量概要 エクセル、JW-CADを用いて図面作成		
		合計20H	

(No.311)

科名	建築科	教科区分 分野	系基礎学科
教科科目	建築製図	時間	1 年 6 0 H
教育訓練目標	建築技術者として必要な製図の基本知識を体得する。また、透視図法についてもパース作製をとおして体得し、設計製図の基本を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容	訓練時間	
1. 製図用具及び用紙	製図用具、用紙の種類と設置、線の描き		
2. 製図通則	線の用法、製図文字、図面、図の配置、第三角法、尺度、寸法表示記号（平面表示記号 材料表示記号）		
3. 建築物製図の概要	各種構造による違いと各図面による違い		
4. 建築造形の基本	形態と調和、造形の表現（エスキス・パース）、等角投影法点景		
			合計 6 0 H

(No.312)

科名	建築科	教科区分 分野	系基礎学科
教科科目	安全衛生	時間	1 年 3 0 H
教育訓練目標	施工現場での作業における災害防止や、安全と健康を守るための知識と技能を習得をする。		
教科の細目	科 目 の 内 容	訓練時間	
1. 安全衛生管理	産業安全・労働衛生の意義、労働災害の現況、災害発生状況、業務上疾病、定期健康診断、災害傾向		
2. 安全衛生関係法規	労働安全衛生法 管理者と労働者の協力、災害統計		
3. 安全作業法	作業時の服装、保護具、整理・整頓・清潔・清掃・躰（5S） 共同作業、高所作業		
			合計 3 0 H

(No.313)

科名	建築科	教科区分 分野	系基礎学科
教科科目	関係法規（関係法規Ⅰ）	時間	1年 60H
教育訓練目標	建築技術者として必要な法規分野の基礎知識（建築基準法）を理解し、併せて設計・施工におけるコンプライアンスの重要性を理解する。		
教科の細目	科 目 の 内 容	訓練時間	
1. 建築基準法	（１）法令の体系 法令構成、用語の定義、面積・高さ・階数の算定方法 （２）集団規定 集団規定概要、道路と敷地・建築物等、用途の制限、建ぺい率、容積率、前面道路による斜線制限、隣地境界線からの斜線制限、天空率、住居専用地域における特則、防火上地域内の建築物制限日影による中高層建築物の高さ制限 （３）単体規定 単体規定概要、構造強度、防火・避難関係規定 一般構造・設備	合計 60H	

(No.314)

科名	建築科	教科区分 分野	専攻学科
教科科目	木質構造	時間	1年 50H
教育訓練目標	木造建築の基礎知識から木造建築設計の基本的技法を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容	訓練時間	
1. デザインと構造	木構造設計の基本的考え方、木造建築の意匠と構造		
2. 荷重と構造計画	木造建築の基礎・軸組・床組・小屋組		
3. 木質構造用材料	木材、合板、集成材		
4. 木質構造の接合部	各種金物、金物の使用部位、継手・仕口		
5. 各部構造の設計	床梁の断面算定		
		合計 50H	

(No.315)

科名	建築科	教科区分 分野	専攻学科
教科科目	材料	時間	1 年 3 0 H
教育訓練目標	建築材料の特性を理解し、工学的視野で材料に携われるようにする。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. 金属系材料	鋼材の特徴、鋼材の性質		
2. 木質系材料	木材の種類、特徴、強度、構造、水分、等級		
3. セメント系材料	コンクリートの性質、セメント、骨材、調合設計		
4. プラスチック系材料	プラスチックの特徴、塗料、接着剤、		
5. その他の材料	ガラス、石材、石膏ボード		
			合計 3 0 H

(No.316)

科名	建築科	教科区分 分野	専攻学科
教科の科目	規く術（規矩術）	時間	1 年 5 0 H
教育訓練目標	さしがねを使用した墨付けの方法を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. さしがね 使用法の基本	さしがねの表目の裏目の関係、平勾配と返し勾配		
2. 規矩術の 勾配基本図	平勾配・隅勾配の基本図、基本図の組合せ 基本図の各辺の長さ		
3. 棒隅木	隅木・配付けたる木・広小舞・鼻隠し・桁の勾配		
4. 四方転び	柱・天板・貫の墨の出し方		
			合計 5 0 H

(No.317)

科名	建築科	教科区分 分野	専攻学科
教科科目	工作法	時間	1 年 3 0 H
教育訓練目標	建築技能者として必要な工具の使用法・構造・使い方・手入れ、木材の木組み、及び造作材の取付けなどについてを習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容	訓練時間	
1. 手工具の取り扱い	手工具の構造・手入れ・使用法		
2. 電動工具及び木工機械の取り扱い	電動工具及び木工機械の構造・手入れ・保管・使用法		
3. 墨付けの基本	墨付けの基本・構造材への墨付け法・番付け 内部造作の墨付け法		
			合計 3 0 H

(No.318)

科名	建築科	教科区分 分野	専攻学科
教科科目	木造建築施工法	時間	1 年 3 0 H
教育訓練目標	木造に使用する材料、工具類、部材についての基本を学び、着工から竣工まで一連の工事の流れについて理解する。		
教科の細目	科 目 の 内 容	訓練時間	
1. 仮設・地業工事	地縄張り・水盛り遣り方、基礎工事		
2. 躯体工事	墨付け、継手と仕口、建方作業		
3. 仕上げ工事	板金屋根工事、外部仕上げ・建具工事、断熱工事、造作工事 内部仕上げ・建具工事		
			合計 3 0 H

(No.319)

科名	建築科	教科区分 分野	専攻学科
教科科目	仕様及び積算	時間	2 年 3 0 H
教育訓練目標	各工事の仕様、工事に必要な資材等の数量積算についての基本事項や計測及び計算方法を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1．仕様書	各種標準仕様書、材料の種類等、施工順序等		合計 3 0 H
2．積算の概要	積算の種類、工事費の構成、単価		
3．数量積算	計測の単位及び数値、数量積算の共通事		
4．仮設と諸経費	共通費、仮設、諸経費		

(No.320)

科名	建築科	教科区分 分野	ニーズ学科
教科科目	建築設備Ⅱ	時間	2 年 2 0 H
教育訓練目標	建築用途により多岐にわたって要求される性能を確保するために様々な設備が使用されている。その中の電気設備について、基本的な計画法を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1．住宅の電気設備	調査・打合せ、関連法規、電気設備の種類		合計 2 0 H
2．配電設計	電気設備設計図の構成、電力配線設計の手順、最大負荷容量 引込設備、電灯配線設備、照明設備 全電化住宅の電気設備設計、テレビ共聴設備		

(No.321)

科名	建築科	教科区分 分野	ニーズ学科
教科科目	関係法規Ⅱ	時間	2 年 2 0 H
教育訓練目標	建築技術者として必要な建築基準法を基礎として、関係諸法令の基礎知識を理解する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1．建築関連法規	バリアフリー新法、耐震改修促進法、住宅品質確保促進法 特定住宅瑕疵担保履行法、建築士法、建設業法、都市計画法 消防法		
2．その他の関連 法規	長期優良住宅普及促進法、宅地建物取引業法、国土利用計画法 道路法		
			合計 3 0 H

(No.322)

科名	建築科	教科区分 分野	ニーズ学科
教科科目	環境工学概論	時間	2 年 2 0 H
教育訓練目標	建築環境を数値的に捉え、より良い住環境を構築する知識を習得すると共に、環境に配慮した建築計画の基本を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1．概論	生活環境、良・悪環境		
2．音環境	生活中の音、音の基礎知識、騒音、建物の音響性能 音環境づくり		
3．空気環境	空気と人の健康・快適感、室内の空気汚染対策		
			合計 2 0 H

(No.323)

科名	建築科	教科区分 分野	ニーズ学科
教科科目	建築施工法	時間	2 年 3 0 H
教育訓練目標	建築技術者として必要な施工管理に関する知識及び鉄筋コンクリート造・鉄骨造について用語・工事の流れ・施工法を理解する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1．仮設工事	排水・山留め工事、地業工事		
2．躯体工事	鉄筋工事、型枠工事、コンクリート工事、鉄骨工事 プレキャストコンクリート工事		
3．仕上げ工事	防水工事、石工事、タイル工事、建具・カーテンウォール工事 内装工事、設備工事		
			合計 3 0 H

(No.324)

科名	建築科	教科区分 分野	ニーズ学科
教科科目	建築応用学科	時間	2 年 1 0 0 H
教育訓練目標	現場では施主や職人たちと良好な人間関係を築くことは、仕事を進める上で重要である。現場代理人としての心構えを学ぶことや住宅資金計画について学ぶ。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. 現場代理人としての心構え	施主との接し方、技術・技能者との接し方、 上司や部下との接し方、現場での心構え、2級建築施工管理試験対策		合計 1 0 0 H
2. 住宅資金計画	必要経費、予算計画、資金計画書		
3. ZEB ZEH	次世代省エネルギー基準、創エネと省エネ、ヒートポンプ、地中熱利用		
4. 古民家	地域歴史文化遺産保全活用、既存住宅状況調査		
5. 技能照査対策	技能照査補習		
6. ドローン	ドローンを用いた建設事例		
7. 建設人材講話	建設業界の諸先輩から体験談を学ぶ		
8. 施設外研修	現場・施設漢学		

(No.325)

科名	建築科	教科区分 分野	系基礎実技
教科科目	機械操作基本実習	時間	2年 70H
教育訓練目標	各種木工機械について構造及び使用方法を理解した上で、安全かつ正確な操作ができるようにする。また、パソコンを使用した業務についても習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容	訓練時間	
1. 建築機械操作 使用実習	手持ち電動工具の取扱い演習、木工機械の取扱い演習		
2. ドローン操作	ドローン操作		
		合計 70H	

(No.326)

科名	建築科	教科区分 分野	系基礎実技
教科科目	測量基本実習	時間	2年 60H
教育訓練目標	「測量」で学んだ知識を基に、実習によって各種の測量技法を体験し、建築設計及び建築施工の実務における測量技法の活用方法を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容	訓練時間	
1. 平板測量	平板測量器機、平板の標定、放射法、導線法、閉合誤差面積の計算（三斜計算 ヘロンの公式）		
2. 水準測量	水準測量器機、器機の設置、昇降式、器高式、水準誤差		
3. トランシット 測量	トランシット器機、トランシットの据え付け、水平角の測定 鉛直角の測定、測定角の誤差、トラバース測量		
4. 測量図	測量図の作図		
5. 工事測量演習	ベンチマークと基準線、やり方		
6. ドローン活用	地形図の作成、建物外観調査		
		合計 60H	

(No.327)

科名	建築科	教科区分 分野	系基礎実技
教科科目	安全衛生作業法(1・2年)	時間	1年 30H 2年 35H
教育訓練目標	5 Sを実践するために、実習場等の環境整備を実施する。このほか、各種演習を通して、安全な作業方法に関する知識や技能を身に付ける。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. 環境整備	環境整備 服装、装具及び保護具の取扱い 作業場の整理整頓 手工具作業 機械作業及び電気取扱い 建設機械作業の災害防止 足場と高所での安全作業 応急処置 その他の災害防止		
2. 安全作業法 (5 S作業)	整理 整頓 清掃 清潔 躰 現場の清掃 建築実習場等の5 S作業実践		
3. 防火避難訓練	春季・秋季の避難訓練		
			合計80H

(No.328)

科名	建築科	教科区分 分野	専攻実技
教科科目	器工具使用法	時間	1 年 6 0 H
教育訓練目標	建築技能者として必要な手工具及び電動工具の手入れ・使用法・保管について習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. 木材加工用 手工具の使用法	さしがねの使い方、のこぎりの使い方、のみの手入れ・研ぎ方 かんなの手入れ・研ぎ方、墨つぼ及び墨さしの手入れ その他の手工具		
2. 電動工具の 取扱い	各種工具の使い方、各種工具の手入れ・保管		
3. 木工機械の 取扱い	各種機械の使い方、各種機械の手入れ・保管		
			合計 6 0 H

(No.329)

科名	建築科	教科区分 分野	専攻実技
教科科目	工作実習	時間	1 年 1 0 0 H
教育訓練目標	継手に関する墨付け、加工及び組立の知識と技能を習得すると共に、基本的な大工作業を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. 手工具による 加工実習	(1) 墨付け用具 使い方芯墨の打ち方、加工墨の付け方 (2) 各種継手の墨付、加工 腰掛け蟻継ぎ、腰掛け鎌継ぎ、追い掛け大栓継ぎ手 台持ち継ぎ手、金輪継ぎ手 (3) 各種仕口の墨付、加工 大入れ蟻掛け、えり輪入れ小根ほぞ差し割りくさび締め 平ほぞ差し、かぶと蟻掛け、下端留め目違い入れ		合計 1 0 0 H
2. 木工機械による 加工実習	木材の製材作業		

(No.330)

科名	建築科	教科区分 分野	専攻実技
教科科目	木造建築施工実習（1・2年）	時間	1年 150H 2年 200H
教育訓練目標	木造建築物の総合演習として模擬棟製作を実施し、墨付け、加工及び組立の知識と技能を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. 模擬棟製作	板図、尺杖の作製、木使い、番付の理解 土台、柱、桁、梁、太鼓梁、母屋、小屋束、隅木、棟木の 墨付け・加工 墨付・加工した材料の地組 墨付・加工した材料の建て方作業 建具の造作		合計 344H

(No.331)

科名	建築科	教科区分 分野	ニーズ実技
教科科目	設計製図Ⅰ	時間	1 年 1 2 0 H
教育訓練目標	建築技術者として必要な木造建築物図面のトレースから図面の読み取り方、図面の書き方を習得する。また、自主設計により設計の手法及び知識を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. 木造建築物の 製図	平面図、断面図、立面図、矩計図、基礎伏図、1 階床伏図 2 階床伏図・1 階小屋伏図、小屋伏図、軸組図、展開図		
2. 自主設計	計画の考え方、エスキスの進め方、エスキスの進め方 2 級建築士実技課題の図面の描き方、建築模型		
3. 施設外研修	現場・施設見学		
			合計 1 2 0 H

(No.332)

科名	建築科	教科区分 分野	ニーズ実技
教科の科目	設計製図Ⅱ	時間	2年 120H
教育訓練目標	建築技術者として必要な鉄筋コンクリート造及び鉄骨造の設計製図についてトレースから図面の読み取り方、図面の書き方を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. 鉄筋コンクリート造の製図	配置図・平面図、立面図・断面図、矩計図、建具詳細図 基礎伏図・梁伏図、基礎・階段配筋図		
2. 鉄骨造の製図	配置図兼平面図、立面図・断面図、鉄骨詳細図、部分詳細図		
3. 施設外研修	現場・施設見学		
			合計120H

(No.333)

科名	建築科	教科区分 分野	ニーズ実技
教科科目	C A D設計製図Ⅰ	時間	1 年 8 0 H
教育訓練目標	建築技術者として実務で通用する C A D 操作法について汎用 C A D（2 次元 C A D）の操作及びコマンド演習からレイヤを活用した図面入力を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. Jw_CADの 基本操作	スナップ、編集コマンド、レイヤ操作、2. 5次元操作 画像の取扱い、エクセル・ワードとの連携操作		
2. 図面入力	平面図、立面図、パース図		
3. 自主設計	1 階平面図兼配置図、2 階平面図、2 階床伏図兼 1 階小屋伏図 矩計図、パース図		
4. 展示交流会	展示交流会視聴		
			合計 8 0 H

(No.334)

科名	建築科	教科区分 分野	ニーズ実技
教科の科目	C A D設計製図Ⅱ	時間	2 年 8 0 H
教育訓練目標	建築技術者として実務で通用するC A D操作法について2次元C A Dと3次元C A Dの違い、C A Dの特性を利用した設計の在り方及びデータの利用法を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1．Jw_CADの応用	1年次の復習、R C造建築物の図面入力		
2．図面入力	平面図、立面図、パース図		
3．総合演習	データ互換、連携ソフト、プレゼンテーション		
4．自主設計	鉄筋コンクリート造自主設計		
			合計 8 0 H

(No.335)

科名	建築科	教科区分 分野	ニーズ実技
教科科目	建築情報処理演習	時間	1 年 6 0 H
教育訓練目標	建築実務に必要なエクセルやワードと連携した業務及びC A Dデータの活用に関するパソコンの利用法を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1. パソコンの 基本操作	ハードウェア、ソフトウェア、ワープロソフト演習 表計算ソフト演習、フォトレタッチソフト演習		
2. パソコンの 応用操作	プレゼンテーション演習		
			合計 6 0 H

(No.336)

科名	建築科	教科区分 分野	ニーズ実技
教科科目	建築材料実験	時間	2 年 2 0 H
教育訓練目標	J I S に規定された基本的実験を通して、建築材料の持つ性質や特性を理解する。		
教科の細目	科 目 の 内 容		訓練時間
1．木材の強度	木材の組織、物理的・力学的・化学的性質、圧縮・曲げ試験		
2．鉄筋の強度	鋼材の性質、引張試験		
3．コンクリートの強度	コンクリートの性質、骨材のふるい分け試験試験、調合設計 圧縮試験、コンクリート梁の曲げ試験		
			合計 2 0 H

(No.337)

科名	建築科	教科区分 分野	ニーズ実技
教科科目	建築応用実習Ⅰ	時間	1年 209H
教育訓練目標	幅広い視野から建築に関する実務的な知識や技術を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容	訓練時間	
1. 企業実習	実務実習		
2. 集中実習	鋼製下地ボード仕上げ実習、鉄筋組立実習、型枠施工実習		
3. 施設外研修	現場・施設見学		
4. 卒業制作発表会	卒業制作発表会聴講		
5. デザイン演習	立体構成、デッサン、色彩		
6. 木造応用実習	模擬用製作実習		
7. 資格取得	各資格取得		
			合計 215H

(No.338)

科名	建築科	教科区分 分野	ニーズ実技
教科の科目	建築応用実習Ⅱ	時間	2年 425H
教育訓練目標	実務的な知識や技術を習得する。 また、卒業制作を通して、ものづくりに関する企画・設計及び製作技術、技術文書作成・発表能力などの総合力を習得する。		
教科の細目	科 目 の 内 容	訓練時間	
1. 集中実習	内装仕上げ実習、内部造作実習		
2. 建築模型製作	自主設計課題の模型製作		
3. 木造応用実習	模擬用製作実習、技能検定課題演習		
4. 施設外研修	現場・施設見学		
5. 資格取得	各資格取得		
6. 卒業制作等	卒業制作（作品製作・要旨作成）、制作発表		
			合計 415H